

# ききょう苑通信



発行日  
2017年7月  
第5号

発行：医療法人社団 松和会 介護老人保健施設  
「ききょう苑」  
〒259-1126 神奈川県伊勢原市 沼目 6-1237  
TEL: (0463) 92-8101 ☐ kikyoen@mtnet.jp

## 学会で発表！

### リハビリテーション部

【リハビリテーション部では、7月に愛媛県で行なわれる第28回全国老人保健施設大会にて、演題2題を発表します。  
そこで今回は、発表するききょう苑の言語聴覚士による誤嚥性肺炎の予防の取り組みについてご紹介します。】

ききょう苑では、食事をするのが難しい利用者に対し、誤嚥性肺炎や窒息などを予防し、食事を楽しみ、生活の質を高めるために、2名の言語聴覚士（ST）が言語訓練や認知機能訓練、摂食嚥下能力の維持・改善リハビリテーションを実施しています。しかし、全国的には老健施設に所属している言語聴覚士は少なく、有資格者総数のわずか8%と報告されています。

そこで、今回の発表ではききょう苑での言語聴覚士による摂食嚥下能力の維持・改善の取り組みを誤嚥性肺炎の発症頻度から検討しました。

## 言語聴覚士による摂食嚥下機能維持・改善に対する活動について

- (1) NSTカンファレンス  
体重測定を実施し、多職種による食形態・食事内容・介助方法などを検討する会議。
- (2) ミールラウンド  
全利用者の実際の食事の様子を多職種のメンバーで回診。
- (3) 給食会議  
調理委託業者と嚥下食の内容や行事食について話し合う会議。
- (4) 他職種に対する勉強会  
嚥下の基礎や介助方法についての知識を共有する勉強会。

2015年と2016年とで比較すると言語聴覚士が関わった(1)～(4)の取り組みは、いずれも回数は増え、充実したサービスを提供することができました。(図1)

## 誤嚥性肺炎の発生頻度について

2015年と2016年とを比較すると誤嚥性肺炎により退所したご利用者は半減しました(図2)。

今回の調査結果から、老健施設での言語聴覚士による活動は大変役に立つこと、また、言語聴覚士は誤嚥性肺炎の予防に対して重要な役割を担っていることが分かり、全国大会にて発表いたします。今後も摂食嚥下能力の維持向上を目的とした取り組みを積極的に行なってまいります。

## 全国老人保健施設大会発表演題

- ① 「老健施設での摂食嚥下能力に対するSTの有用性」発表者：新倉 太一
- ② 「老健施設におけるリハビリテーション評価の再考」発表者：富田 洋子

右記2題を発表しますので、みなさま応援の程、宜しくお願いします！  
(リハビリテーション部 白倉佐知)

## 新入りリハビリ職員の紹介



友利 隆太  
理学療法士



平山 美里  
作業療法士

一生懸命頑張ります！

## 総合相談部開設！

【入所相談部を、総合相談部へと再編成しました。】

ききょう苑の介護サービスには、「入所」「短期入所」「通所リハビリテーション」「訪問リハビリテーション」の4つの事業があります。今年度より、各サービスをスムーズに利用できるように、総合相談部がすべての窓口となります。ご利用者やご家族が相談・連絡をしやすいよう、窓口を一本化するとともに、ききょう苑内の連携を強化し、適切な介護サービスを提供できるように、総合相談部がお手伝いいたします。

### 総合相談部が承ります！

- ・ききょう苑を利用してみたい
- ・介護保険や自宅での介護の困りごと
- ・サービスを利用したいけどどうしたら良い？
- ・老人保健施設ってなに？
- ・市役所や、各地域包括支援センターはどう利用するの？
- ・など、介護に関係することは何でもご相談ください。

### 総合相談部の今後の目標

ご利用者が使いやすいききょう苑を目指し、また、「ききょう苑」に来て、通って、知って、「良かった」、「相談してよかった」と思っていたらいいように、努力していきます。

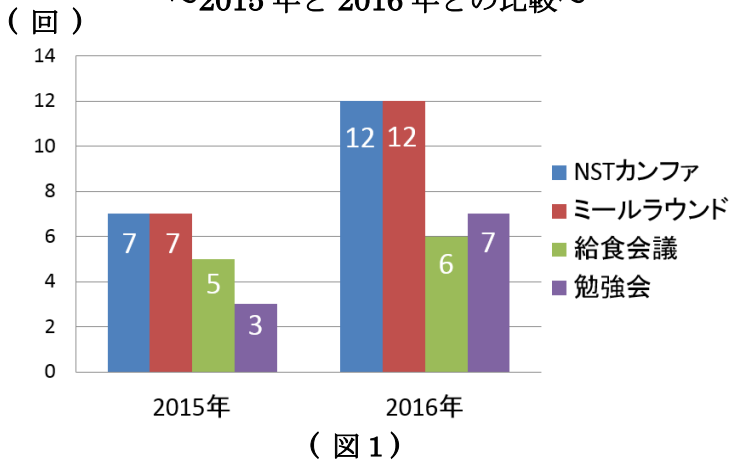
(総合相談部 後藤佑介)



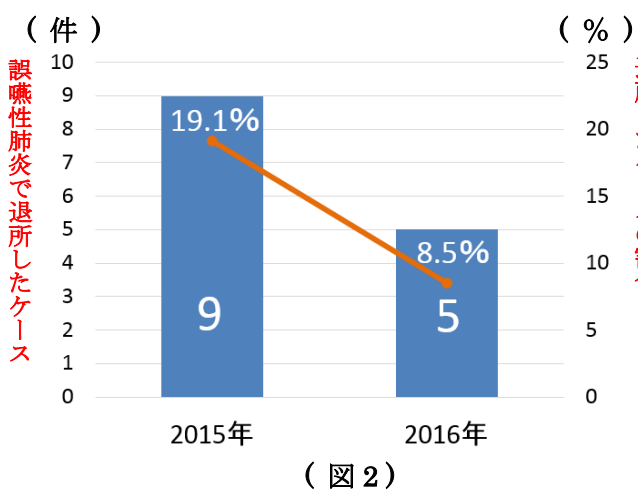
総合相談部、左から、布川幸子、後藤佑介（主任）、清水歩美

## 摂食嚥下に対する活動の推移

～2015年と2016年との比較～



## 誤嚥性肺炎の発症頻度





2017年5月17日 杉崎はる様  
百歳のお祝い（ききょう苑）

中央、杉崎はる様、後方左から、小澤施設長、杉崎様ご家族、高山松太郎市長

### 杉崎はる様百歳長寿のお祝い

ききょう苑では毎月お誕生日会を行っています。5月のお祝いでは、18日のお誕生日に百歳を迎えられた杉崎はる様に、ききょう苑の職員から、お祝いの言葉を記した色紙とお花をお渡ししました。とても喜んでいただき、時々、その色紙を読まれて、笑顔でいます。

また、5月19日には、高山松太郎伊勢原市長が来苑されて、百歳を記念し、表彰状と記念品の贈呈がありました。

### 杉崎はる様インタビュー

百歳を迎えての心境はいかがですか？

「夢のような百歳を迎えることが出来ました。自分では八十歳位までは生きられるかとは思っていましたが、ここまで生きられるかと思ってもいなかったです。」



高山松太郎市長と歓談する杉崎はる様

今まで過ごされてきた中で、嬉しかった出来事はどんなことでしたか？

「娘夫婦、孫二人、ひ孫二人に恵まれ、現在ききょう苑で生活し、健康で長生きできた事がとても嬉しいです。特に孫やひ孫はとても可愛くて、目に入れても痛くない存在です。」

お仕事は何をされていらっしゃいますか？

「お米や野菜などを作っていました。そのおかげか野菜は大好物です。八十二歳位までは自転車に乗り、畑まで行き、作物の世話をしていました。」

長生きの秘訣を教えてください

「特にこれに気をつけていたということはないけれども、食事を美味しく食べて、些細なことを気にしないことが長生きの秘訣だと思います。」

今後の目標は？

「百二十歳までとはいませんが、いつまでも穏やかに、健康で長生きしたいです。」  
(介護部 前場未樹)

### 施設長より

地域の皆様に、「ききょう苑」について、より知っていただき、もつと上手にご利用していただくこと、2017年度から、次のような計画、企画などを作成、その実行に努力していく所存です。どうぞ、皆様のご理解、ご支援、ご協力、そして助言をよろしく願います。

#### 個人別リハビリテーションの充実

「ききょう苑」では、個別リハビリテーションを原則にプランを作成して実施しています。さらに、今後は、日常生活における達成目標を設定し、利用者様、ご家族ともその達成度評価をし、その成果を上げるように努力します。

#### ご自宅での生活を指した個別プロジェクト

苑内で、利用者様が過ごされる時間は、喫食の充実、食習慣の検討、外出行事、趣味の充実など、できる限りご自宅での生活環境に沿ったサービスに努めていきます(今夏には、「ミニゴルフコース」を開設予定)。

#### 地域との関連の充実

近隣自治会、行政などとも相談しながら、「ききょう苑」としての社会貢献に努めていきます。今秋からは、伊勢原市の後援で、「老人施設、介護などについての研修セミナー」を伊勢原市内で広く行う予定です。ぜひ、皆様のご参加をお待ちしております。

#### 何でも相談できる総合相談部の新設

今までの事業別相談窓口を、入所、通所、訪問事業のすべての総合相談窓口に改組し、種々のご相談に対して、一括した窓口としました。これにより、利用者、ご家族からの相談も容易になり、入所、通所、訪問リハビリテーションの総合的連携が図れ、より有効に施設をご利用いただけると思います。



### 熱中症に注意!

気温の変化が激しいながらも、段々と暑い日が増えてきて、夏の訪れを感じます。

皆様も、熱中症で倒れた、眩暈がする、などを耳した方も少なくないのではないのでしょうか？

厚生労働省発行のリーフレットによると、熱中症患者の約半数は65歳以上の高齢者と言われており、感覚機能や調節機能の低下により、特に注意が必要と定義されています。

また、予防のために**水分補給**、**室温調整**などの環境整備が重要と言われています。

#### 経口補水液について

熱中症予防には、ただ水を飲むだけでなく、経口補水液(水に食塩と



ブドウ糖を溶かしたもの)が推奨されています。経口補水液は汗と一緒に喪失してしまう塩分と、血糖値低下による低血糖症状の予防に効果があります。

高齢者の中には、嗜好や体質、生活習慣の積み重ねなど様々な理由で水分を摂ることが難しい方もいらっしゃると思いますが、暑い季節には水分摂取を心がけ、熱中症を予防しましょう。

ききょう苑では、食事以外に一日1リットルを目安として水分を摂るようにお話をしています。夏季には給水にスポーツドリンクを加えたり、選択ドリンクで好きな飲み物が摂れるようにしております。

(看護部 加藤一義)

### 〈お知らせ〉

#### ★入所行事について

- ・七夕お楽しみ会  
日時：7月第1週〜2週
- ・白百合幼稚園お楽しみ会  
日時：7月12日(水)
- ・お花見見学  
日時：8月吉日
- ・縁日(スイカ割り)  
日時：8月9日(水)
- ・フルーツバイキング  
日時：8月30日(水)
- ・敬老会  
日時：9月13日(水)

#### ★入所の夏季衣替えについて

・ご家族様は冬服と夏服の入れ替えをお願いします。

### 編集後記

「ききょう苑通信」は第5号で創刊1周年を迎えることができました!

1年前は広報誌を作成できなかった不安でしたが、発行することによって今広報誌の内容、デザイン、レイアウトなどのイメージが生まれてくるようになりました。人は日々繰り返すことでも上達することのできるのだと、あらためて実感しております♪

今後とも、皆様に喜ばれる「ききょう苑通信」を作成してまいりますので、ご期待ください。

(事務部 鈴木雄大)

